

「学校に泊まろう！」 実施のご報告



防災イナッチュウ

- 宿泊避難訓練「学校に泊まろう！」が、9月18・19日に19家族45人の参加を得て本校体育館で行われました。
- バーチャル対策本部を立ち上げ、避難所という自治組織の中で参加者それぞれが、どのような役割を担えるかを考えました。
- 青古新田自治会の方々や地域のボランティア団体さんのご協力を得て、停電の想定下で非常食を実際に調理し、試食できたのもいい経験でした。
- 保護者の座談会では災害をテーマに率直な意見交換ができました。
- さまざまな掲示物により、防災に関する知識を共有しました。

①



「学校に泊まろう！」の
ねらいとは…

②



伊奈特別支援学校の体育館に
泊まることだけが主旨ではありません。

最寄りの一時避難所は「学校の体育館」がほとんど。他人と共同の避難生活を体験したことがあれば、万一のときの抵抗感を減らすことが期待でき、同時に問題点も見えてくる。

防災についての意識を高め、災害発生時に対する心の準備をするきっかけ作りの機会。保護者目線で語り合うことで、災害時に何が不安で何が必要なかがはっきりしてくる。



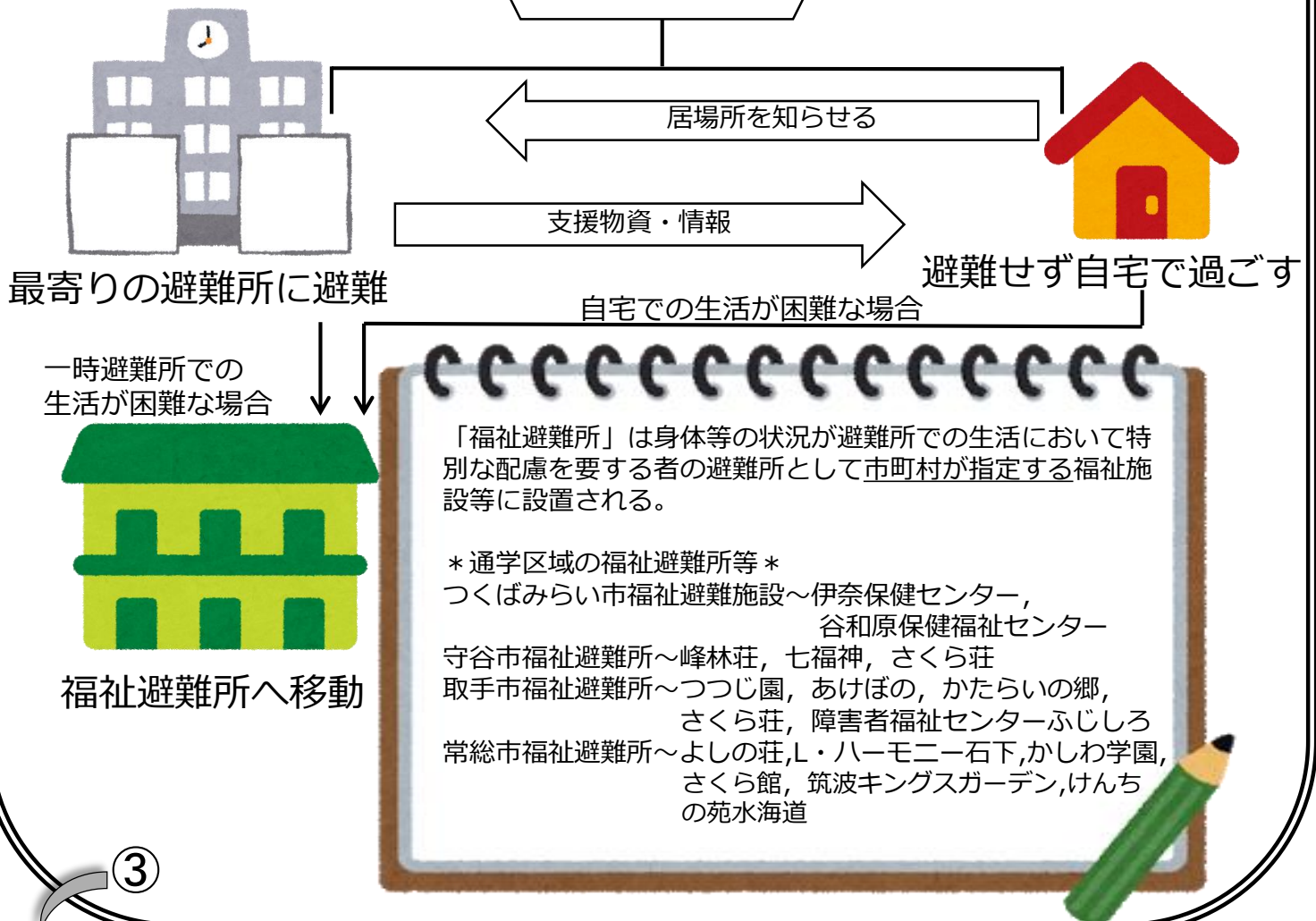
災害時に一番不安なのはやはり子どものこと
見知らぬ避難所での寝泊り、
長期化した時の子どもの心のケア…など



(裏面③に続く)

災害が発生したときの対応は現在このような流れです

災害発生



③

④

「学校に泊まろう！」を終えての結論

伊奈特別支援学校を「福祉避難所」に指定するよう
まず、つくばみらい市に保護者（市民）の
要望としてあげることが早急に必要だと考えます。

市町村がどの施設を福祉避難所に指定するかについては、大変多くの様々な行政手続きを経て行われるとのことですので、保護者からの要請だけでは簡単に実現出来ないかもしれません。ですが、PTAとして粘り強く働きかけに取り組んでいきたいと考えています。

（文責 関山幸子・安河内崇代）